

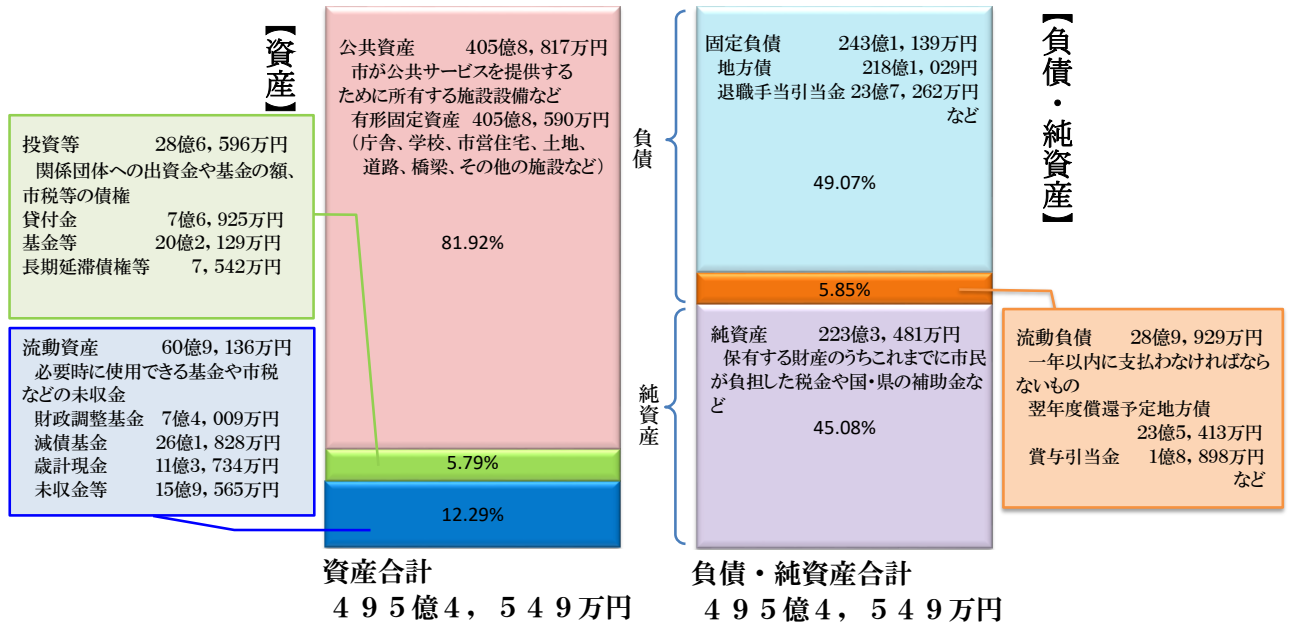
人吉市財務諸表について

令和4年度普通会計 貸借対照表

貸借対照表とは…

市がどのような財産を持ち、その財産を所有するためにかけた費用を表したものです。

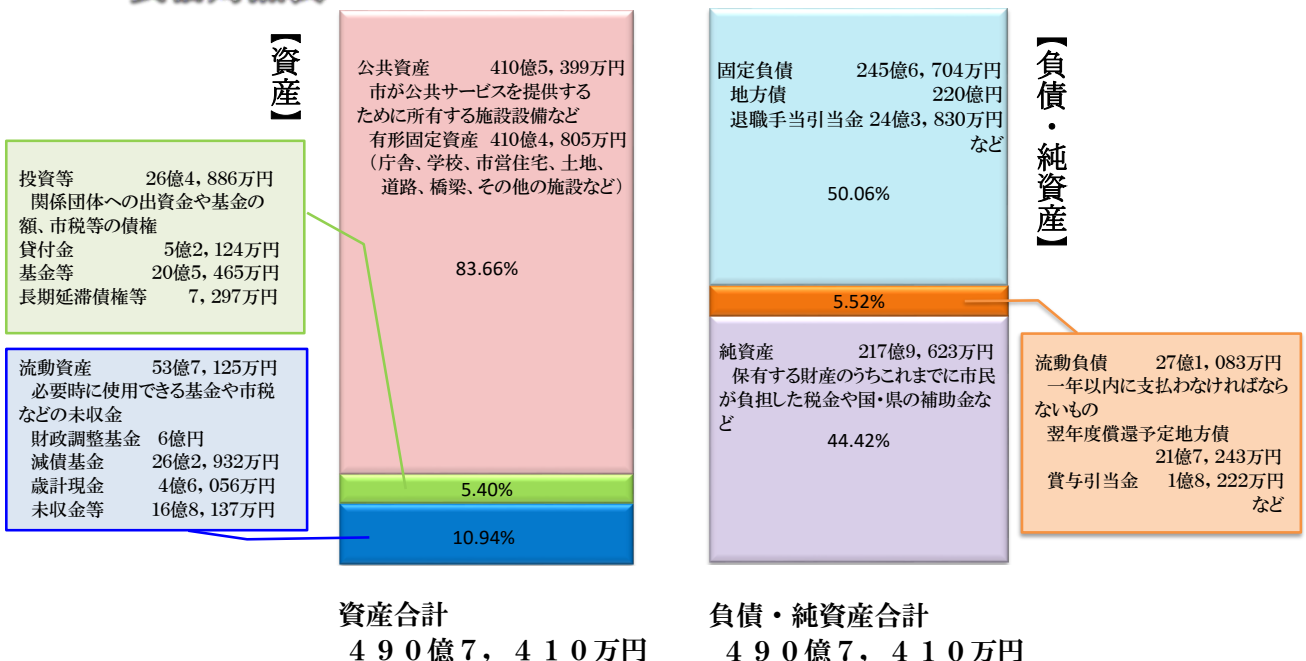
そのため、「資産」＝「負債」＋「純資産」という関係式が成り立ちます。



上記の貸借対照表から見えることは、資産では庁舎や学校などの公共資産が80%以上を占め、負債・純資産では負債が55%、純資産が45%程度であり、前年度から大きな動きはありませんでした。流動資産は、前年度と比べ約7億円の増となっていますが、税収の増などによる歳計現金の増が主な要因です。また、財政調整基金については、約1億4千万円の積み立てを行い、復興事業や後年の起債償還の財源確保に努めたところです。負債では、令和2年7月豪雨に伴う災害復旧事業が落ち着いてきたことにより、地方債発行額が抑えられたため、地方債が約1億9千万円の減となり、固定負債全体でも約2億5千万円の減となっています。

人吉市では、上記の表にあるように有形固定資産が全体の80%以上を占め、公共施設の老朽化による改修や維持については大きな費用が必要となり、今後の課題でもあります。また、扶助費などの義務的経費の増、物価高騰による光熱水費などの物件費の増に加え、令和2年7月豪雨からの復旧・復興が急務となっており、特に復興事業においては市単独での多額の財政負担が懸念されます。公共施設の改修等はその施設の統廃合も含めた今後の活用を十分に検討し、財源である地方債も交付税措置が70%の過疎対策事業債をうまく活用しながら計画的に行う必要があるとともに、令和2年7月豪雨からの復興を推進するため、既存事業の効率化・縮小による経常的な経費の抑制に向けた取り組みを行っていきます。

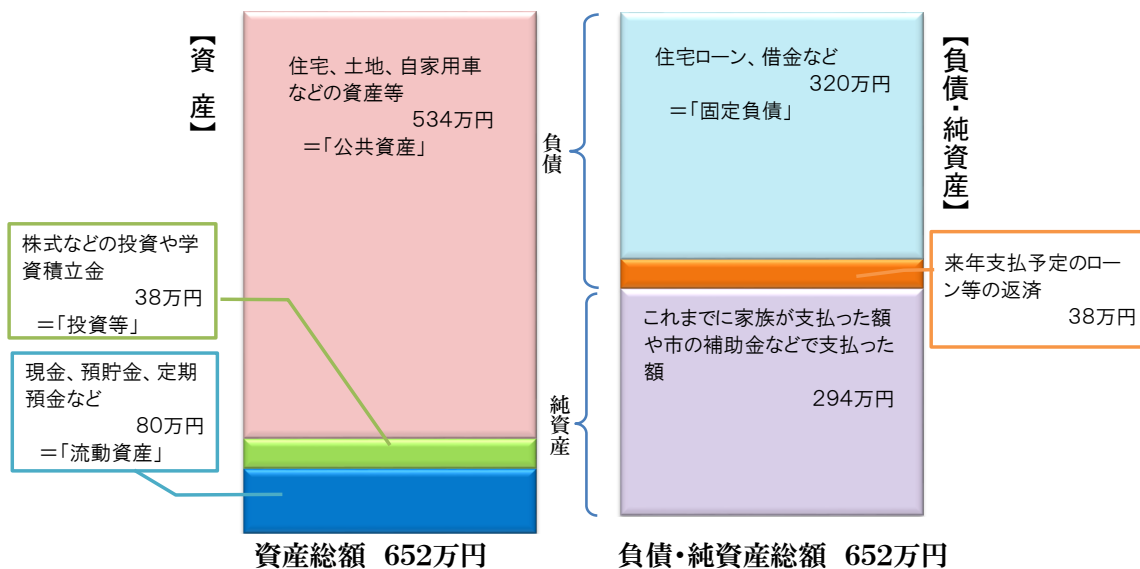
令和3年度普通会計 貸借対照表



*人吉市の貸借対照表を1世帯（4人家族）に換算すると…

1世帯（4人家族）の貸借対照表

令和5年3月31日時点の住民基本台帳人口(30,378人)で1人当たり換算した額をもとに算出しました。



令和4年度は前年度と比較すると総額で14万円の増となっており、現金や預貯金の10万円の増や人口減少により一人あたりの資産が増えたことが主な要因です。

一方で、ローン返済等の負債は横ばいであるため、前年度と比較すると若干は改善したことになりますが、新たな資産の購入等へ回せる余裕はなく、まだまだ現金預金を増やすよう節約が必要な状況です。また、資金調達のために借金をするとしても来年度の支払いなども含めて将来を見据えた計画が必要といえます。

1世帯（4人家族）の貸借対照表

令和4年3月31日時点人口
30,763人

